第九小だより

令和8年 10 月 26 日
学校評価①結果報告
八王子市立第九小学校

令和８年度 第１回　学校評価の結果報告

校長　中野　智彦

日頃より、本校の教育活動にご理解、ご協力いただき、誠にありがとうございます。また、第１回の学校評価にご協力いただき、感謝申し上げます。結果について、以下のとおり報告いたします。いただいたご意見を真摯に受け止め、改善に向けて考え、保護者・地域の方々とともによりよい学校をつくっていきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

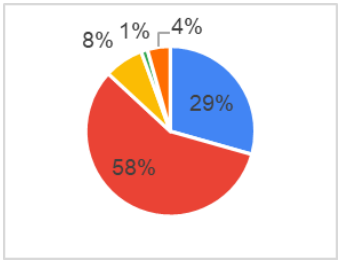
１　結果の概要

①実施期間　　７月２日～７月 17 日　　②回答数　　160 件（回答率 42%）

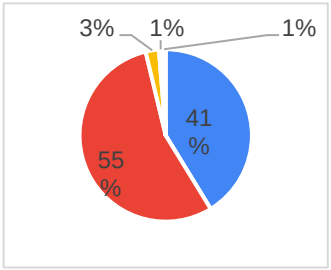
２　各項目の結果

そう思う　だいたいそう思う　あまり思わない　そう思わない　わからない

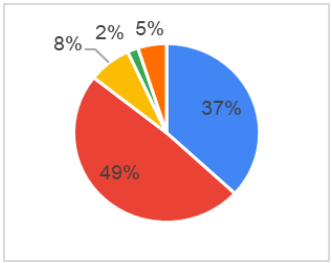
(1)学校の教育目標を知っている。



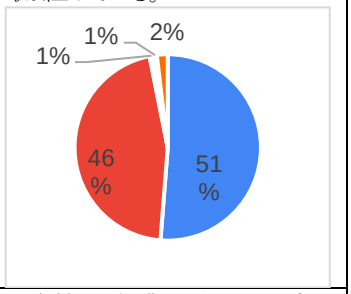
(2)学校は、特色ある取組(九つの取組、あいさつ運動など)を行っている。



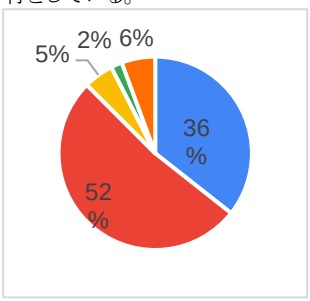
(3)第二中学校と一緒に行う取組(あいさつ運動、地域クリーンデイなど)を知っている。



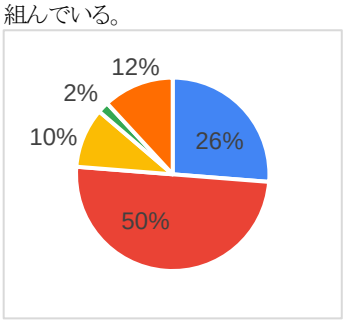
(4)子どもが安心･安全に過ごせるように、避難訓練などの安全管理に取り組んでいる。



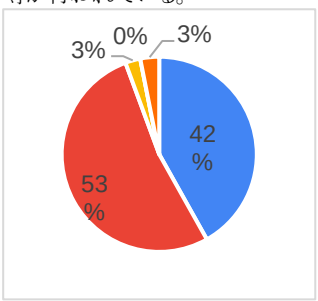
(5)教育活動を通し、自分や他者の大切さを認め、行動できるような教育をしている。



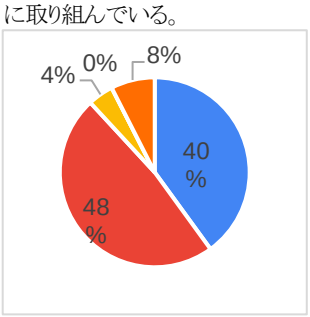
(6)学校は、いじめの未然防止、早期発見、早期対応などに組織的に取り組んでいる。



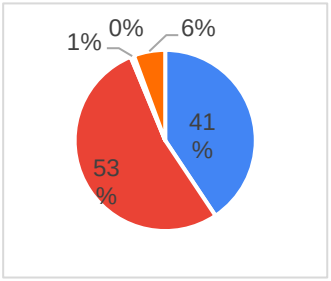
(7)子どもの学級では、授業や学校行事に意欲的に取り組むよう、指導が行われている。



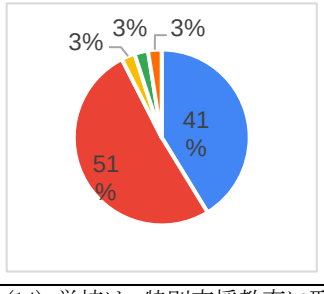
(8)学校は、授業で説明、話し合い活動、ICT 機器の活用などの工夫に取り組んでいる。



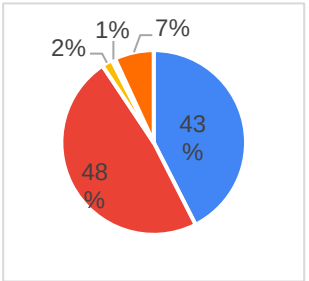
(9) 学習活動に対する評価は適切・公平である。



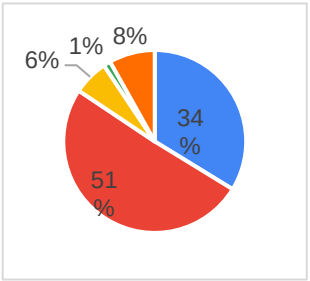
(10)子どもがよりよい学校生活を送れるように目標の設定やきまりの指導を行っている。



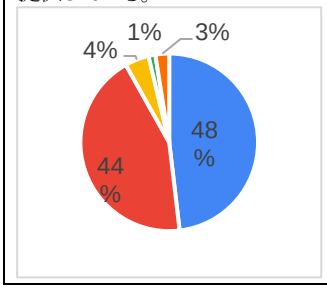
(11)「キャリア・パスポート」を用い、キャリア教育を行っていることを知っている。



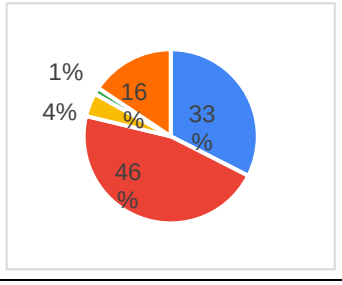
(12) 学校は、学習環境の整備に取り組んでいる。



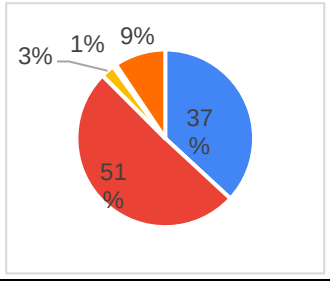
(13)保護者に対して、学校だよりやホームページなどで適切に情報を提供している。



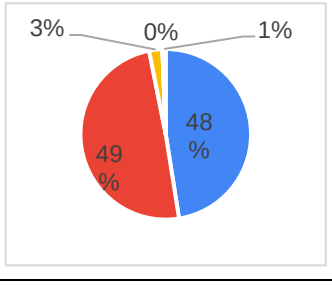
(14) 学校は、特別支援教育に取り組んでいる。

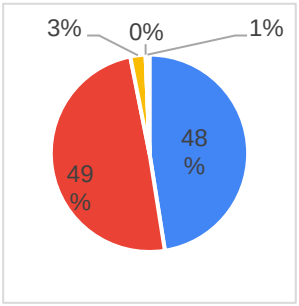


(15)分かる授業が行われている。



(16)子どもは友達を大切にしていると感じる。



(17)家庭では、子どもの生活習慣(あいさつ・食事・睡眠)の定着に取り組んでいる。  	【結果について】 ・17 項目中 15 項目で肯定的な回答（80%以上が「そう思う」「だいたいそう思う」）をいただいています。継続して、教育活動の充実に努めてまいります。 ・肯定的な回答について(6)いじめ対応 76%、(14)特別支援教育 79%、が相対的に低い結果となりました。いじめ対応について、毎週の校内いじめ対策委員会の実施、家庭や関係機関と連携した未然防止・早期発見に努めていきます。特別支援教育について、わかりやすい情報の発信を心がけ、子どもたちや保護者の方々にご理解いただけるよう努めます。 ・今年度の第１回学校評価における回答数は 160 件（回答率 42%）となりました。昨年同期の回収率 62%を大幅に下回りました。第２回では、よりよい学校づくりに向けて 70%以上のご回答をいただきたいと思います。どうぞご協力のほどお願いいたします。

３　自由記述に対する回答　※同様な意見をまとめたり、表現を一部調整したりしていることをご了承ください。また、この報告以前の段階で個別に解決・合意したものについての記述は割愛いたします。

(1) 全般的なことについて

・先生方いつもありがとうございます！
・楽しい授業が展開されていて、子どもも習熟度が高いと思います。先生やお友達の話したことを、家でも話してくれるのでうれしいです。
・わが子が一所懸命頑張っていることを聞くことができ、嬉しかったです。ありがとうございました。
・いつも楽しく通学しています。通常授業の他にもクラブや委員会もとても楽しく取り組めているようで、家でよく話をしてくれます。先生方の工夫された授業、本当に感謝しております。
・いつもありがとうございます。子どもが安心して通える学校であることを願っています。よろしくお願いします。

→こちらこそ、ありがとうございます。今後もご期待に添えるよう努力します。

・学習内容や先生方の研究情報などあればどんどん共有していただけたら、保護者・地域でも理解が深まり、つながる機会・サポートも増えて、結果的に先生方が本来の業務に集中できるようになるのでは、そうなったら良いなと感じます。
・学校の取り組みについて、学校に自ら関わるようになって初めて、知ることが増えたのですが、まだ知らないことが多く、どのように関わる、または見守るのがよいのかわからない保護者も多いのではないかと感じています。学年が上がるごとに学習も生活内容も多様化するので、保護者会で先生から様子をお話しいただくのが貴重な機会だと思いました。

→ご指摘ありがとうございます。今後もご期待に添えるよう努力します。

・回答が大変遅くなり、申し訳ありません。

→いいえ、とんでもありません。ご回答くださり、ありがとうございます。

(2) 指導について

①プールの授業が５回連続で中止となっている。天気や気温で仕方ないのかもしれないが、設定されているのは週２回とも１、２時間目であり水温が上がらないのではと思われる。４年生の姉は２回プールの授業の機会があったが、両方とも３、４や５、６時間目で行われているからだ。ただでさえ少ないプールの授業が既に半分中止となっている。意味があり１、２時間目となっているのかもしれないが、子供たちは楽しみにしているので何か策を講じていただければと思う。

→プール利用可能期間全体を通してバランスの取れた設定となるように努力します。但し、体育を担当する授業者の受け持ち時程の関係で特定の校時に偏った形でプール（水泳）の機会が設けられるこも今後考えられます。

②宿題でパニックを起こす件、そして学校に行きたくなくなってしまったことついて、担任の先生に個別で相談させていただいています。

→今後も丁寧な対応に努めます。

(3) キャリアパスポートについてもっと知りたいです。

→児童・生徒が、小学校から高等学校までの特別活動を中心として、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりしながら、自身の変容や成長を自己評価できるよう工夫されたポートフォリオのことです。詳しくは、文科省のhttps://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/detail/1419917.htm をご参照ください。

(4) 図書室の蔵書を充実させたり、利用できる時間を増やしたりして、子供達に本に触れる機会を増やしてあげてほしい。

→蔵書の増加につきましては、市からの毎年の図書関連予算の活用のほか、弘済会東京支部による図書助成事業（数年に一度）も活用して整備に努めます。
本に触れる機会については、１～４年生における図書の時間の活用、５・６学年も含めた調べ学習における図書の利用を促すなど、その増加に努めます。また、PTA・地域の方々が読み聞かせを実施してくださっています。

(5) 水筒に冷たい水を入れられる給水器があったらいいです。ウチの子は水を持って行ってますが、飲み切ってしまった後、水道の水だと温くて美味しくない…との事。…（中略）…最近の子供は水が飲めない子が多いと聞きますが、冷たい水は美味しいとわかれば、飲めるようになるのかな？と。災害時の為にも水は飲めた方がいいですし。

→ウォーターサーバー等の給水器設置等を小Ｐ連などを通して、市や都に働きかけてもらえるように相談します。ただ、給水器等の機器の衛生管理やメンテナンスを誰が行うのかについての実行可能な方策を検討しなければなりません。

⑹スクールゾーンについて一言言わせてください。山田の森はスクールゾーンなのですが、通学の時間帯に車が平気で通ります。スクールゾーンを表すグリーンのラインが薄くなっているし、通行禁止の看板も見えづらいとことにあり、どこからどこまでが通行禁止なのかわかりづらいのもあると思います。とても危険なので、もうちょっと運転手に分かるように表示してもらえないでしょうか?

→当該の箇所を 10 月上旬に市の地域教育推進課・建設部職員及び八王子警察署警察官とともに点検しました。道路のペインティング施工や標識の改善を図るとのことでした。なお、当該区間は現段階でスクールゾーンにはなっていません。今後、におけるスクールゾーン化を図るとしましたら、沿道住民の同意が必要で、さらに当該箇所が含まれる町会及び市の担当課の協力と八王子警察署への申請が必要です。すぐに実現できる事項ではないようです。

⑺年度初めの、教材費の引落し日についてのお知らせが遅いので、もう少し早く知らせて欲しいです。高学年は特に引落金額が高額な為、4 月末までには教えて頂きたいです。

→そのようになるよう努めます。

⑻学校に来られない子がいて残念です。自分の子がもしそうなったらと少し不安に思うことがあります。子どもたちに先生方がどう説明しているのかを親が知れる機会があると家での教育もできるのかと思いました。

→学校に来られない（登校できない）、学校に行くことが不安だ…という児童が、不安を和らげ、安心して学校に来られる（登校できる）ように学校全体で努力いたします。登校への不安をお子さまが感じた場合には、担任や学年の教員等にお気軽に相談してください。お子さま・保護者・学校の三者での合意を前提に、お子さまの気持ちや状況に寄り添った具体的な方策を立てられるようにします。

→「子どもたちに先生方がどう説明しているのかを親が知れる機会が…」につきましては、その児童の状況によっても説明が変わってきます。説明の機会を適切に設けたり、適切な内容の説明なったりするように心掛けます。

⑼北区の小学校の火事の件で、避難経路確保など、安全管理の面が心配になりました。校舎の端や上階での避難経路の確認やストーブの管理など、しっかりと確認見直しをして欲しいです。

→児童及び学校施設の安全確保の観点から、ご指摘の通りの確認等をすでに行いました。これからも必要な見直し等を図っていきます。

⑽保護者会の持ち方に関して、「先生たちの話や子供の近況が聞きたいのに」…というご指摘がありました。

→当該の学級や学年の教員に直接お尋ねください。ご希望がありましたら管理職も同席します。

以上です。ご回答へのご協力をありがとうございました。いただいた回答をもとに改善を図ってまいります。